

『今日は、巡礼ルートのお話をすることになっておったのう。まずは、忍野八海（忍野村）に入
ためのルートを紹介しようかのう。第一番目のルートは、江戸（東京）方面からのルートじゃ。
甲州街道を歩き、富士吉田にある明見湖を目指して来たんじゃよ。その後、鳥居地峠を越えて
上村へ入り、疫神社をお参りして、東円寺・忍草浅間神社・忍野八海を巡るルートが考えられ
るんじゃ。第二番目のルートは、駿河（静岡県）や相模（神奈川県）方面からのルートじゃが、
籠坂峠を越え山中湖に入り旧鎌倉街道沿いにある出口稲荷神社前より、大我講手引石に従っ
て、出口池から八海を巡ったルートが考えられるんじゃよ。』

『講左衛門さん、巡礼ルートの証拠は、何かあるでまっすん？』

『そこが問題なんじゃ。昔の絵図には、巡礼ルートが書かれているんじゃが、現在では、絵図
に残された道がない所があるんじゃよ。まずは、絵図に書かれている道を調査しなければいけ
ないんじゃ。その調査は素人ではだめなんじゃよ。行政の埋蔵文化財担当者が中心になって石
造仏などがあれば、その縮尺図を作成して報告書を作るんじゃ。その報告書が証拠なんじゃ。』

『石造仏や他のものが何もなかったらどうなるでまっすん。』

『それは、それで、調査したという報告書を作成すればいいんじゃよ。しかし、まずは、しっ
かり調査することが重要なんじゃ。さて、第三番目のルートは、旧市川大門町や身延町からの
ルートじゃが、この道は多くの人々が通った道じゃ。ご年配の方々は、その道をはっきり覚え
ておられると聞く。富士吉田まで来るルートの調査も重要事項じゃ。記憶が残ってる元気なう
ちに調査をしてほしいのう。さて、その方々は、精進湖方面から来るんじゃが、富士吉田市内
に入ると、現在の法務局近くの本町通には、大我講の手引石があったそうじゃ。鐘山を抜けて
平山峠を越えて、忍野八海へ入るルートがあったようじゃ。』

『様々な方面から、忍野八海を訪れてくれたということでもまっすん。忍野八海は、富士山に登
るための襷をするところでもまっすん。身体を清めた後は、富士山に登るでもまっすん。』



『次回は、忍野八海より富士山に登ったルートを紹介しようと思
っておる。この巡礼ルートの調査と報告こそが、イコモス（国際
記念物遺跡会議）に報告しなければいけない内容、登拝・巡礼の
登山道と忍野八海の関係についての認知促進なんじゃよ。』

『今後どのように保存していくか、管理計画や忍野八海への来訪
者に対する情報提供についても課題は山積しているでまっすん。
巡礼ルートの調査をしてほしいでまっすん。』

クニマッソ
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター
口癖 でまっすん…



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門通信』は、
第2・第4日曜日に発行予定